## ◎深海底の申請区域に関する資料の秘密の保持に関する協定

(略称)

深海底申請区域に関する資料の秘密保持協定

条 条	条	条	条	条	条	条	<del></del>	目							
							文								
効力発生及び有効期間⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯五一○廃棄⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯ 五○九	<b>法令の遵守</b>	協議五○九	規定違反に対する制裁五〇八	座標以外の秘密の保持五〇八	座標の秘密の保持五○八	座標交換又は調整交渉の過程に得た秘密の保持五○七		次	昭和五十九年 十二 月 十七 日 我が国について効力発生	(外務省告示第一一号)	昭和六十年 一 月二十一日 告示	昭和五十九年 十二 月 十七 日 署名	昭和五十九年 十二 月 十四 日(署名の閣議決定)	昭和五十九年 十二 月 十七 日 第一分子生	昭和五十九年 十二 月 十七 日 ジュネーヴで作成

第 第 第 第 第 第 第 前

八七六五四三

五〇五

深海底申請区域に関する資料の秘密保持協定

深海底の申請区域に関する資料の秘密の保持に関する協

定

めの手続に関する了解を実施することを希望して、 底機構及び国際海洋法裁判所のための準備委員会の第二回会期 ス共和国 (以下「締約国」という。)の政府の代表は、国際海 おいて到達した第一集団の申請者の間における紛争解決のた 次のとおり協定した。 日本国、インド、ソヴィエト社会主義共和国連邦及びフラン

ある交渉の過程において他の締約国から秘密のものとして得た は当該区域の境界線に係る紛争の解決に関して行われることが 的な又は秘密の情報であつて、当該区域の座標の交換の過程又 に特定されている区域の座標及び当該区域に関する他の所有権 締約国は、他のすべての締約国が準備委員会に提出した申請

5

ものの秘密を確保するよう、適当な措置をとる。

特に、締約国は、自国の管轄権に服する個人であつてこのよ

深海底申請区域に関する資料の秘密保持協定

第 条

AGREEMENT

ON THE PRESERVATION OF THE CONFIDENTIALITY OF DATA CONCERNING THE APPLICATION AREAS OF THE DEEP SEA-BED

Government of the French Republic, the Government of Republics, hereinafter referred to as the "Parties", the Government of the Union of Soviet Socialist seeking to implement the Understanding on the The representatives of the Government of Japan, the India

Authority and Preparatory Commission for the International Sea-Bed Applicants, reached at the second session of the the Sea for the International Tribunal for the Law

Procedure for Conflict Resolution among the First Group

g,

have agreed as follows: 0£

Article 1

exchange of the coordinates of the areas or possible confidential information concerning those areas, received Preparatory Commission, as well as other proprietary or confidentiality of the coordinates of the areas, specified from the other Parties in confidence in the course of the the applications submitted by all other Parties to the Each Party shall take appropriate measures to ensure

保するよう、適当な措置をとる。うな情報を知ることのできる者がその秘密を保持することを確

第二条

録されるまで、保持する。密を、当該他の締約国のそれぞれの申請が準備委員会により登密を、当該他の締約国のそれぞれの申請が準備委員会により登締約国は、前条に規定する他の締約国の申請区域の座標の秘

密の保持座標の秘

第三条

提供した締約国が当該情報を秘密のものとする間、保持する。締約国は、第一条に規定する他の情報の秘密を、当該情報を

保の座 持秘標 密外

第四条

兵して第一条に規定する情報を漏らした場合には、国内法令に締約国は、自国の管轄権に服する個人がこの協定の規定に違

制裁 対対 する る

negotiations on the resolution of conflicts with regard to the boundaries of the areas.

In particular, the Parties shall take appropriate measures to ensure that individuals subject to their jurisdiction, having access to that kind of information,

Article 2

Each Party shall preserve the confidentiality of the

preserve its confidentiality.

coordinates of the application areas of the other Parties referred to in Article 1 until the respective applications by these other Parties are registered by the Preparatory Commission.

Article 3

The Parties shall preserve the confidentiality of other information referred to in Article 1 as long as the Party that provided this information considers it confidential.

Article 4

The Parties shall apply sanctions under their national laws and regulations in case of disclosure by

議

締約国は、この協定の実施を容易にするため、適当な場合に

第七条

(1) 準備委員会により登録された日の後は、②の規定に従うこと に受領された日の後百八十日で、効力を生ずる。 り、この協定を廃棄することができる。廃棄は、通告が最後 を条件として、他のすべての締約国に対する書面の通告によ 締約国は、すべての第一集団の申請者である先行投資者が

Article 5

to in Article 1.

of the terms of this Agreement of the information referred individuals subject to their jurisdiction in contravention

appropriate, to facilitate the implementation of this The Parties shall consult with each other, when

Agreement

Article 6

accordance with their national laws and regulations. The Parties shall implement this Agreement in

Article 7

such notice. effective 180 days from the date of the latest receipt of written notice to all other Parties, subject to paragraph first group of applicants, denounce this Agreement by Preparatory Commission of all the pioneer investors of the Ξ (2) of this Article. A Party may, after the date of registration by the Such denunciation shall become

五〇九

深海底申請区域に関する資料の秘密保持協定

(2)

①の規定に基づく締約国によるこの協定の廃棄は、第三条

(2)

Denunciation by a Party pursuant to paragraph (1) of

棄

廃

より制裁を適用する。

第五条

は、相互に協議を行う。

第六条

締約国は、国内法令に従つてこの協定を実施する。

の遵守

のではない。 及び第四条の規定により締約国が負う義務に影響を及ぼすも

第八条

る。 を条件として、締約国が別段の合意を行う時まで効力を有す この協定は、署名の日に効力を生じ、前条の規定に従うこと

期 及 効 間 び 力 有 発 効 生

this Article shall not affect the Parties' obligations under Articles 3 and 4.

Article 8

date of its signature and shall remain in force until

otherwise agreed by the Parties, subject to Article 7.

は めの準備委員会の第二会期において成立した鉱区調整手続に関する了解を実施するため、 この協定は、国連海洋法条約に基づき設立される予定の国際海底機構及び国際海洋法裁判所のた 他の締約国から秘密のものとして得た区域の座標及び当該区域に関する他の情報の秘密を保持 各締約国

(参考)

するよう適当な措置をとることを合意したものである。

The present Agreement shall enter into force on the